

「銚子モデル」の実現 洋上風力を経済活性化に

問 企画室(24)8904

紙面の都合で一部を掲載しました。
全文は市役所3階企画室で閲覧できるほか市ホームページに掲載しています。



市 民の負託を受け、市長に就任してから8年になろうとしています。

「対話の市政」をモットーに、「行財政改革」「病院再生」「人口減少対策」などの重要な課題と向き合い、全力で市政運営に努めてきました。

総合計画に掲げた「握手つながらまちづくりのちから」を基本理念として市民・民間団体との連携を図り、洋上風力発電誘致、子育て支援、産業振興、防災対策など、銚子創生のための各事業を推進してきました。

実質地方債残高を 50億円削減

市の財政は、多額の地方債の返済が

収支を圧迫していたことから、その残高の縮減に努めました。交付税措置を除いた地方債残高の実質的な負担額は、平成24年度末の159億8千万円から令和元年度末には109億2千万円に減少し、50億6千万円を削減しました。令和7年度には、これまで毎年4億円あった大型事業の地方債の償還が終了します。下水道事業の地方債の償還も、現在より年間2億円以上の減少が見込まれます。

一方で、財政調整基金の令和3年度末現在高の見込みは3億7千万円と少額です。気を緩めることなく、危機感をもって収支改善を図るとともに、洋上風力発電による産業集積、地場産業

の振興や企業誘致に取り組み、将来にわたり持続可能な財政構造の確立を目指します。

確実にワクチン接種

終わりの見えない新型コロナウイルス感染症との戦いが続いています。市民の命と暮らしを守り抜くため、感染防止と経済回復に全力であたります。

ワクチン接種を円滑に実施するため「新型コロナウイルスワクチン接種対策室」を設置しました。銚子市医師会のご協力をいただきながら、迅速・確実にワクチンの接種を進めていきます。